

令和 3 年度千歳市病院事業会計決算について

1 収益的収支について

(単位：千円)

区 分		令和 3 年度決算額 A	令和 2 年度決算額 B	前年度比増減 A - B
収入	1 医業収益	5,511,939	4,814,037	697,902
	(1) 料金収入	4,708,715	4,055,450	653,265
	入院収益	2,984,271	2,547,312	436,959
	外来収益	1,724,444	1,508,138	216,306
	(2) その他収益	803,224	758,587	44,637
	うち他会計負担金	453,791	466,983	▲ 13,192
	2 医業外収益	1,393,580	1,178,836	214,744
	(1) 他会計負担金・補助金	557,139	568,923	▲ 11,784
	(2) 国(道)補助金	767,062	556,142	210,920
	(3) その他	69,379	53,771	15,608
経常収益	6,905,519	5,992,873	912,646	
支出	1 医業費用	6,095,472	5,842,539	252,933
	(1) 職員給与費	3,290,269	3,280,534	9,735
	(2) 材料費	1,141,123	1,033,148	107,975
	(3) 経費	1,244,149	1,145,004	99,145
	(4) 減価償却費	377,562	357,202	20,360
	(5) その他	42,369	26,651	15,718
	2 医業外費用	308,315	298,978	9,337
	(1) 支払利息	82,300	88,679	▲ 6,379
	(2) その他	226,015	210,299	15,716
	経常費用	6,403,787	6,141,517	262,270
経常損益		501,732	▲ 148,644	650,376
特別損益	1 特別利益	3,684	9,000	▲ 5,316
	2 特別損失	5,888	6,585	▲ 697
	特別損益	▲ 2,204	2,415	▲ 4,619
純損益		499,528	▲ 146,229	645,757

令和 3 年度経常収益の総額は 69 億 551 万 9 千円、前年度に比べ 9 億 1,264 万 6 千円の増となっています。

主な項目では、入院収益が 29 億 8,427 万 1 千円で、前年度に比べ 4 億 3,695 万 9 千円の増、外来収益は 17 億 2,444 万 4 千円で、前年度に比べ 2 億 1,630 万 6 千円の増となっていますが、これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた前年度に比べ、入院・外来ともに患者数が増加したことなどによるものです。

このほか、その他医業収益は、健診センター収入など 8 億 322 万 4 千円で、前年度に比べ 4,463 万 7 千円の増、医業外収益は、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金など 13 億 9,358 万

円で、前年度に比べ2億1,474万4千円の増となっています。

一方、経常費用の総額は64億378万7千円、前年度に比べ2億6,227万円の増となっています。

主な項目では、職員給与費が32億9,026万9千円で、前年度に比べ973万5千円の増となっていますが、これは、診療体制の充実と勤務環境の整備に向け、嘱託医の増員に伴う報酬、法定福利費の増などによるものです。

材料費は、11億4,112万3千円で、前年度に比べ1億797万5千円の増となっていますが、これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた前年度に比べ、患者数が大きく増加し、薬品・診療材料の使用量が増加したことによるものです。

経費は12億4,414万9千円で、検査手数料などの増加により、前年度に比べ9,914万5千円の増、減価償却費は3億7,756万2千円で、前年度に比べ2,036万円の増、医業外費用は3億831万5千円で、前年度に比べ933万7千円の増となっています。

この結果、経常損益では、前年度に比べ6億5,037万6千円の収支改善が図られ、5億173万2千円の利益を計上し、3年ぶりの黒字決算となっています。

2 資本的収支について

(単位：千円)

区 分		令和3年度決算額 A	令和2年度決算額 B	前年度比増減 A－B
収入	企業債	920,000	405,000	515,000
	国(道)補助金	154,169	172,034	▲ 17,865
	固定資産売却代金等	0	28	▲ 28
	収入計	1,074,169	577,062	497,107
支出	建設改良費	1,132,360	634,915	497,445
	企業債償還費	410,608	403,322	7,286
	支出計	1,542,968	1,038,237	504,731
差引不足額		▲ 468,799	▲ 461,175	▲ 7,624
財源 補填	損益勘定留保資金等	468,799	461,175	
実質財源不足額		—	—	—
内部留保資金		1,965,152	1,534,659	430,493

資本的収入の総額は10億7,416万9千円、前年度に比べ4億9,710万7千円の増となっています。

主な項目では、企業債が9億2,000万円で、前年度に比べ5億1,500万円の増、補助金は新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金や再編関連訓練移転等交付金などが1億5,416万9千円で、前年度に比べ1,786万5千円の減となっています。

一方、資本的支出の総額は15億4,296万8千円、前年度に比べ5億473万1千円の増となっていますが、これは、電子カルテシステムの更新などにより建設改良費が増加したことによるものです。

また、企業債償還金は4億1,060万8千円で、前年度に比べ728万6千円の増となっています。

この結果、収支の差し引きで、4億6,879万9千円の不足額が生じましたが、これにつきましては、過年度分の損益勘定留保資金等により補填しています。

なお、安定した経営の維持に最も重要となる内部留保資金の残高は、令和3年度末において19億6,515万2千円となっています。

参 考 资 料

参考資料 1 決算額の主な項目の増減理由

(単位：千円)

項 目		令和2年度決算額 A	令和3年度決算額 B	増減 B-A
収入	医業収益	2,547,312	2,984,271	436,959
		【主な増減理由】 ■入院患者数等の増 ・入院患者数：39,307人→45,116人(+5,809人) [主な診療科] 内科：5,468人→6,381人(+913人) 消化器科：4,401人→6,881人(+2,480人) 小児科：2,975人→3,591人(+616人) ・1日平均患者数：107.7人→123.6人(+15.9人) ・病床利用率：56.7%→65.1%(+8.4%) ■患者1人1日当たり診療収入(入院)の増 : 64,806円→66,147円(+1,341円)		
		1,508,138	1,724,444	216,306
		【主な増減理由】 ■外来患者数等の増 ・外来患者数：130,302人→144,625人(+14,323人) [主な診療科] 内科：19,115人→21,239人(+2,124人) 消化器科：10,608人→13,315人(+2,707人) 産婦人科：11,717人→13,781人(+2,064人) ・1日平均患者数：536.2人→597.6人(+61.4人) ■患者1人1日当たり診療収入(外来)の増 : 11,574円→11,924円(+350円)		
収入	その他収益	758,587	803,224	44,637
		【主な増減理由】 ■公衆衛生活動収益の増 ・各種健診(検診)：135,157千円→153,788千円(+18,631千円) [実施件数]8,448件→9,621件(+1,173件) ・新型コロナウイルスワクチン予防接種 : 0千円→25,602千円(+25,602千円) ■一般会計負担金の減 ・救急医療業務負担金：425,154千円→411,276千円(▲13,878千円) ・保健衛生行政事務負担金：41,829千円→42,515千円(+686千円)		
収入	医業外収益	1,178,836	1,393,580	214,744
		【主な増減理由】 ■一般会計負担金の減 ・小児医療業務負担金 : 27,161千円→25,557千円(▲1,604千円) ・高度医療増嵩費負担金 : 212,181千円→209,544千円(▲2,637千円) ■国・道補助金の増 ・新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 : 488,868千円→717,984千円(+229,116千円) ・新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関緊急支援事業補助金 : 61,468千円→18,000千円(▲43,468千円)		

(単位：千円)

項 目		令和2年度決算額 A	令和3年度決算額 B	増減 B-A
支出	医業費用	3,280,534	3,290,269	9,735
		【主な増減理由】 ■医師及び嘱託医の増員による給与及び報酬の増 ・給与 : 1,256,657千円→1,277,458千円(+20,801千円) ・手当 : 1,037,825千円→1,018,762千円(▲19,063千円) ・報酬 : 345,192千円→357,712千円(+12,520千円) ※職員数増減：307人→305人(▲2人) [増減内訳] ・医師 : 34人→35人(+1人) ・医療技術員 : 47人→46人(▲1人) ・看護師 : 192人→190人(▲2人) ・事務員 : 34人→34人(±0人)		
		1,033,148	1,141,123	107,975
	【主な増減理由】 ■入院・外来患者数の増に伴う薬品費・診療材料費の増 ・薬品費 : 417,787千円→478,379千円(+60,592千円) ・診療材料費 : 615,361千円→662,745千円(+47,384千円)			
医業外費用	経費 減価償却費 その他	1,528,857	1,664,080	135,223
		【主な増減理由】 ■経費の増 : 917,972千円→993,374千円(+75,402千円) [主な内訳] ・燃料費 : 33,205千円→38,453千円(+5,248千円) ・修繕費 : 52,780千円→59,726千円(+6,946千円) ・賃借料 : 76,332千円→94,677千円(+18,345千円) ・手数料 : 53,771千円→89,363千円(+35,592千円) ・委託費 : 519,804千円→525,330千円(+5,526千円) ■減価償却費の増 : 357,202千円→377,562千円(+20,360千円)		
		298,978	308,315	9,337
		【主な増減理由】 ■雑損失の増 ・控除対象外消費税 : 184,961千円→202,008千円(+17,047千円)		

参考資料2 主な経営指標等の前年度決算額との比較

経営指標	令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	増減 B-A
経常収支比率(%)	97.6	107.8	10.2
<p>費用に対する収益の割合を示し、企業の経営状況を表す。100%以上が単年度経常黒字、100%未満が単年度経常赤字である。</p> <p>[経常収益/経常費用×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■経常収益及び経常費用の増</p> <ul style="list-style-type: none"> 経常収益：5,992,873千円→6,905,519千円(+912,646千円) [医業収益の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 入院収益：2,547,312千円→2,984,271千円(+436,959千円) 外来収益：1,508,138千円→1,724,444千円(+216,306千円) 一般会計負担金：466,983千円→453,791千円(▲13,192千円) [医業外収益の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 一般会計補助金：214,443千円→230,850千円(+16,407千円) 国・道補助金：556,142千円→767,062千円(+210,920千円) <ul style="list-style-type: none"> 経常費用：6,141,517千円→6,403,787千円(+262,270千円) [医業費用の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 材料費：1,033,148千円→1,141,123千円(+107,975千円) 経費：1,145,004千円→1,244,149千円(+99,145千円) [医業外費用の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 雑損失：184,961千円→202,008千円(+17,047千円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：99.9% 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：105.6% 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：93.8%</p>		
医業収支比率(%)	82.4	90.4	8.0
<p>医業費用に対する医業収益の割合を示し、医業活動の収益状況を表す。100%以上が医業の黒字、100%未満が医業の赤字である。</p> <p>[医業収益/医業費用×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■医業収益及び医業費用の増</p> <ul style="list-style-type: none"> 医業収益：4,814,037千円→5,511,939千円(+697,902千円) [医業収益の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 入院収益：2,547,312千円→2,984,271千円(+436,959千円) 外来収益：1,508,138千円→1,724,444千円(+216,306千円) 一般会計負担金：466,983千円→453,791千円(▲13,192千円) <ul style="list-style-type: none"> 医業費用：5,842,539千円→6,095,472千円(+252,933千円) [医業費用の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 材料費：1,033,148千円→1,141,123千円(+107,975千円) 経費：1,145,004千円→1,244,149千円(+99,145千円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：80.3% 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：83.8% 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：76.6%</p>		
病床利用率(%)	56.7	65.1	8.4
<p>病床数のうち利用された病床数の割合を示す。</p> <p>[1日平均入院患者数/190床×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■1日平均入院患者数の増</p> <ul style="list-style-type: none"> 107.7人→123.6人(+15.9人) [1日平均入院患者数(診療科別)の主な増減] <ul style="list-style-type: none"> 内科：15.0人→17.5人(+2.5人) 消化器科：12.1人→18.9人(+6.8人) 小児科：8.2人→9.8人(+1.6人) 整形外科：25.4人→26.7人(+1.3人) 産婦人科：12.0人→13.4人(+1.4人) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：64.7% 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：68.4% 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：60.9%</p>		

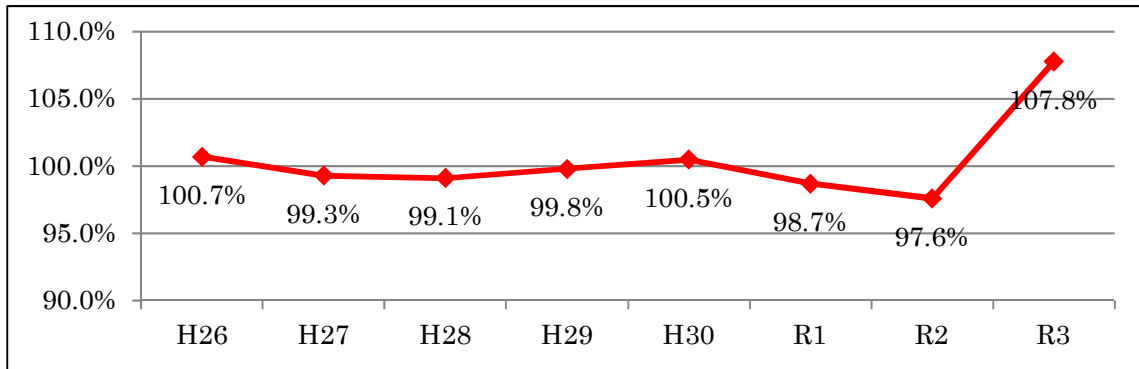
経営指標	令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	増減 B-A
1日平均患者数(入院)(人)	107.7	123.6	15.9
1日当たりの入院患者数を示す。 [年延入院患者数/年診療日数]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■入院患者数の増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39,307人→45,116人(+5,809人) <p>[入院患者数(診療科別)の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科 : 5,468人→6,381人(+ 913人) 消化器科 : 4,401人→6,881人(+2,480人) 小児科 : 2,975人→3,591人(+ 616人) 整形外科 : 9,253人→9,733人(+ 480人) 産婦人科 : 4,398人→4,873人(+ 475人) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 98人 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 102人 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 93人</p>		
1日平均患者数(外来)(人)	536.2	597.6	61.4
1日当たりの外来患者数を示す。 [年延外来患者数/年診療日数]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■外来患者数の増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・130,302人→144,625人(+14,323人) <p>[外来患者数(診療科別)の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> 内科 : 19,115人→21,239人(+2,124人) 消化器科 : 10,608人→13,315人(+2,707人) 産婦人科 : 11,717人→13,781人(+2,064人) 泌尿器科 : 11,885人→13,608人(+1,723人) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 244人 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 242人 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 246人</p>		
職員給与費対医業収益比率(%)	68.1	59.7	▲ 8.4
医業収益に対する職員給与費の割合を示す。割合が低いほど少ない人件費で効率的に収益をあげていることになる。 [職員給与費/医業収益×100]	<p>【主な増減理由】</p> <p>■医業収益に対する職員給与費の割合が減少したことによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業収益 : 4,814,037千円→5,511,939千円(+697,902千円) <p>[医業収益の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院収益 : 2,547,312千円→2,984,271千円(+436,959千円) ・外来収益 : 1,508,138千円→1,724,444千円(+216,306千円) ・一般会計負担金 : 466,983千円→453,791千円(▲ 13,192千円) <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与費 : 3,280,534千円→3,290,269千円(+9,735千円) <p>[職員給与費の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与 : 1,256,657千円→1,277,458千円(+20,801千円) ・手当 : 1,037,825千円→1,018,762千円(▲19,063千円) ・報酬 : 345,192千円→357,712千円(+12,520千円) ・退職給付費 : 166,447千円→146,070千円(▲20,377千円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100~199床) : 67.4% 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100~199床) : 65.7% 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100~199床) : 69.4%</p>		

経営指標	令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	増減 B-A
材料費対医業収益比率(%)	21.5	20.7	▲0.8
<p>医業収益に対する医療材料費の割合を示す。割合が低いほど少ない医療材料費で効率的に収益をあげていることになる。</p> <p>[材料費/医業収益×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■医業収益に対する医療材料費の割合が減少したことによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医業収益：4,814,037千円→5,511,939千円(+697,902千円) <p>[医業収益の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院収益：2,547,312千円→2,984,271千円(+436,959千円) ・外来収益：1,508,138千円→1,724,444千円(+216,306千円) ・一般会計負担金：466,983千円→453,791千円(▲13,192千円) <p>・材料費：1,033,148千円→1,141,123千円(+107,975千円)</p> <p>[材料費の主な増減]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬品費：417,787千円→478,379千円(+60,592千円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：17.1% 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：16.9% 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：17.3%</p>		
患者1人1日当たり診療収入(入院)(円)	64,806	66,147	1,341
<p>入院収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。</p> <p>[入院収益/延入院患者数]</p>	<p>■主な内訳(増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環器科：97,807円→112,309円(+14,502円) ・耳鼻咽喉科：56,299円→67,171円(+10,872円) ・眼科：106,967円→94,279円(▲12,688円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：32,757円 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：33,736円 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：31,602円</p>		
患者1人1日当たり診療収入(外来)(円)	11,574	11,924	350
<p>外来収入の患者1人1日当たりの金額を表すもので、効率的な医療を提供することにより、単価が上昇し収益向上に繋がる。</p> <p>[外来収益/延外来患者数]</p>	<p>■主な内訳(増減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器科：19,030円→21,817円(+2,787円) ・外科：23,787円→22,600円(▲1,187円) ・泌尿器科：15,821円→14,002円(▲1,819円) <p>[参考] 令和2年度全国自治体病院平均 (100～199床)：9,951円 令和2年度全国黒字自治体病院平均(100～199床)：9,965円 令和2年度全国赤字自治体病院平均(100～199床)：9,936円</p>		

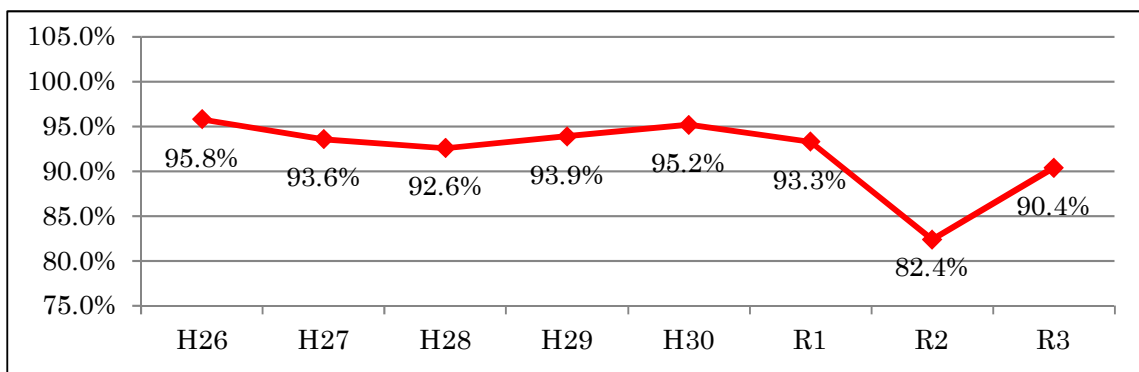
経営指標	令和2年度決算 A	令和3年度決算 B	増減 B-A																												
常勤医師数(人)	34	35	1																												
<p>常勤医師数を表す。地域の基幹病院としての診療体制を充実させるため、常勤医師の確保に努める。</p> <p>[常勤医師数(年度末)]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■常勤医師数の増</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤医師数(年度末)：34人→35人(+1人) <p>[診療科別医師数]</p> <table border="1"> <tr><td>内科</td><td>6</td><td>産婦人科</td><td>2</td></tr> <tr><td>循環器科</td><td>3</td><td>眼科</td><td>1</td></tr> <tr><td>消化器科</td><td>3</td><td>耳鼻咽喉科</td><td>1</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>4</td><td>皮膚科</td><td>2</td></tr> <tr><td>外科</td><td>4</td><td>泌尿器科</td><td>2</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>2</td><td>麻酔科</td><td>2</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>3</td><td>合計</td><td>35</td></tr> </table>			内科	6	産婦人科	2	循環器科	3	眼科	1	消化器科	3	耳鼻咽喉科	1	小児科	4	皮膚科	2	外科	4	泌尿器科	2	脳神経外科	2	麻酔科	2	整形外科	3	合計	35
内科	6	産婦人科	2																												
循環器科	3	眼科	1																												
消化器科	3	耳鼻咽喉科	1																												
小児科	4	皮膚科	2																												
外科	4	泌尿器科	2																												
脳神経外科	2	麻酔科	2																												
整形外科	3	合計	35																												
紹介率(%)	58.3	58.6	0.3																												
<p>他の医療機関からの紹介によって受診した患者の割合</p> <p>[(紹介患者数+救急患者数)/初診患者数×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■紹介患者数の増</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介患者数：5,665人 初診患者数：12,882人 救急患者数：1,890人 <p>[診療科別紹介件数]</p> <table border="1"> <tr><td>内科</td><td>循環器科</td><td>消化器科</td><td>小児科</td><td>外科</td><td>脳神経外科</td><td>整形外科</td></tr> <tr><td>843</td><td>770</td><td>784</td><td>535</td><td>196</td><td>148</td><td>622</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>眼科</td><td>耳鼻咽喉科</td><td>皮膚科</td><td>泌尿器科</td><td>麻酔科</td><td>合計</td></tr> <tr><td>527</td><td>292</td><td>485</td><td>113</td><td>340</td><td>10</td><td>5,665</td></tr> </table>			内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	整形外科	843	770	784	535	196	148	622	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	麻酔科	合計	527	292	485	113	340	10	5,665
内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	整形外科																									
843	770	784	535	196	148	622																									
産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	麻酔科	合計																									
527	292	485	113	340	10	5,665																									
逆紹介率(%)	35.1	32.1	▲3.0																												
<p>他の医療機関へ紹介した患者の割合</p> <p>[逆紹介患者数/初診患者数×100]</p>	<p>【主な増減理由】</p> <p>■初診患者数の増加に伴う患者割合の減</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆紹介患者数：4,135人 初診患者数：12,882人 <p>[診療科別逆紹介件数]</p> <table border="1"> <tr><td>内科</td><td>循環器科</td><td>消化器科</td><td>小児科</td><td>外科</td><td>脳神経外科</td><td>整形外科</td></tr> <tr><td>685</td><td>1,007</td><td>375</td><td>257</td><td>128</td><td>163</td><td>441</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>眼科</td><td>耳鼻咽喉科</td><td>皮膚科</td><td>泌尿器科</td><td>麻酔科</td><td>合計</td></tr> <tr><td>263</td><td>203</td><td>201</td><td>59</td><td>346</td><td>7</td><td>4,135</td></tr> </table>			内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	整形外科	685	1,007	375	257	128	163	441	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	麻酔科	合計	263	203	201	59	346	7	4,135
内科	循環器科	消化器科	小児科	外科	脳神経外科	整形外科																									
685	1,007	375	257	128	163	441																									
産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科	泌尿器科	麻酔科	合計																									
263	203	201	59	346	7	4,135																									

参考資料3 経営指標年度推移

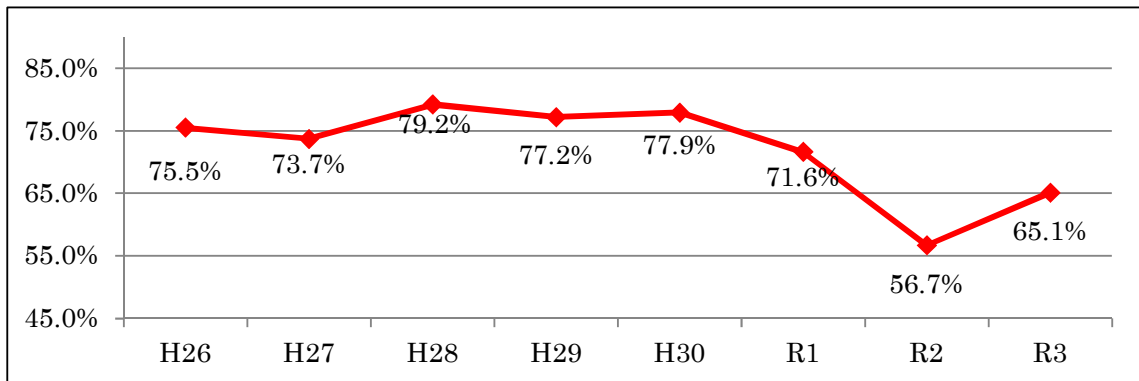
◆ 経常収支比率



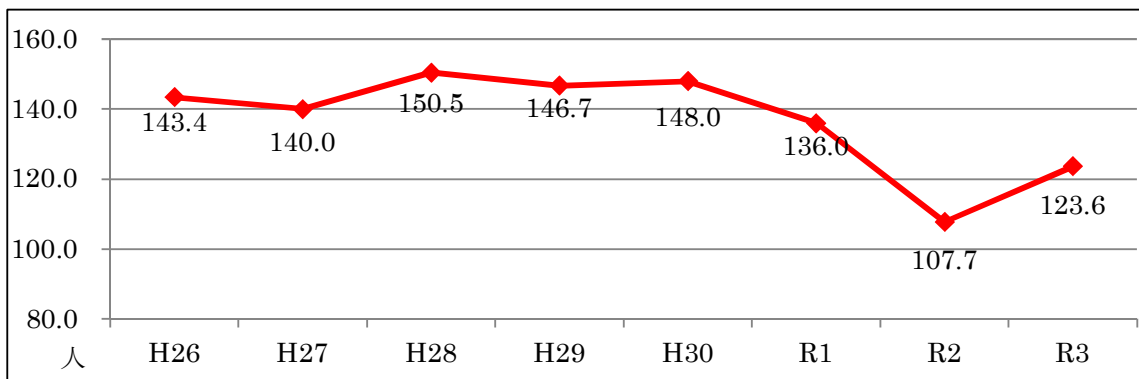
◆ 医業収支比率



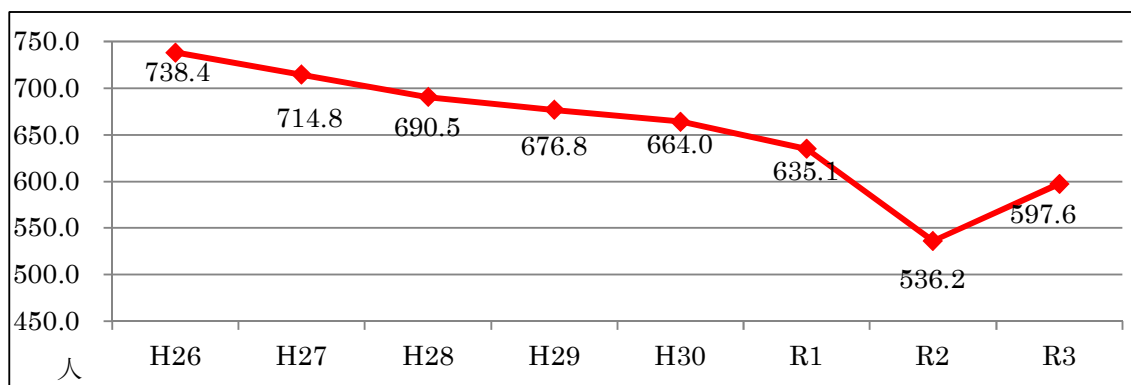
◆ 病床利用率



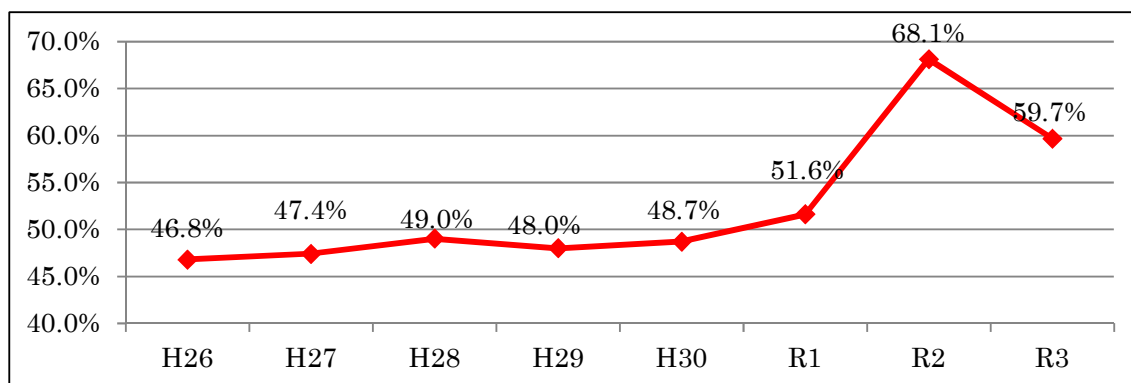
◆ 1日平均患者数 (入院)



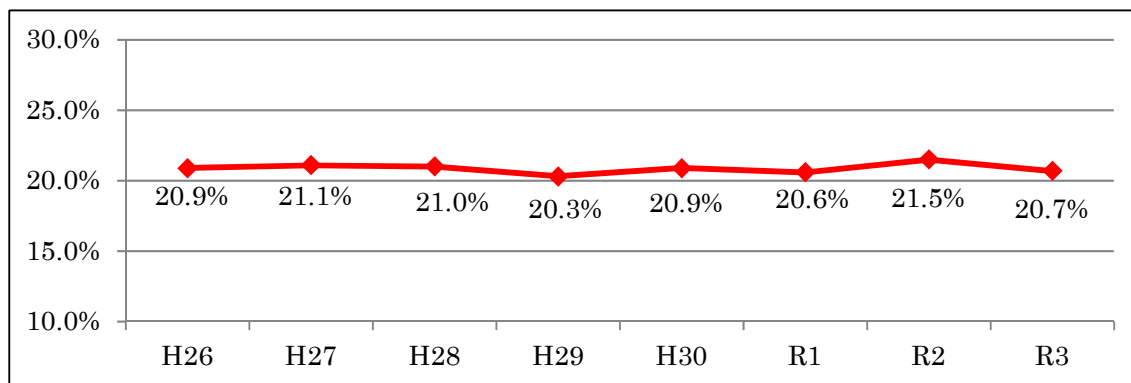
◆ 1日平均患者数（外来）



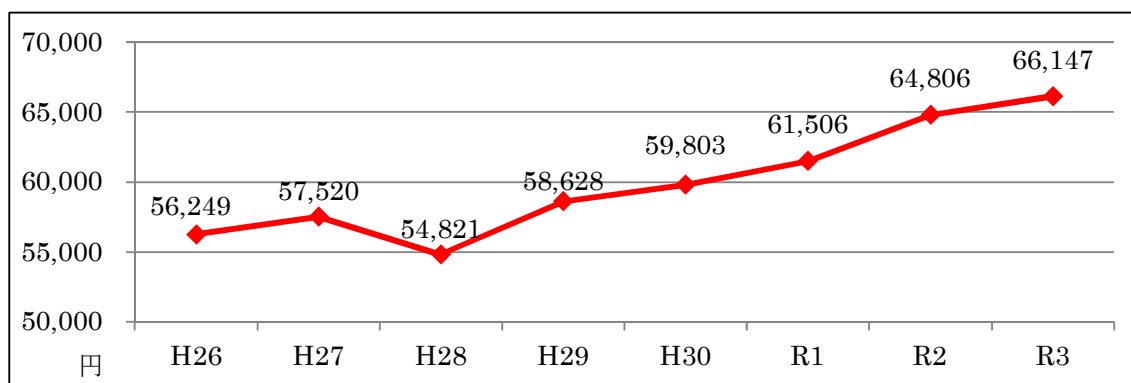
◆ 職員給与費対医業収益比率



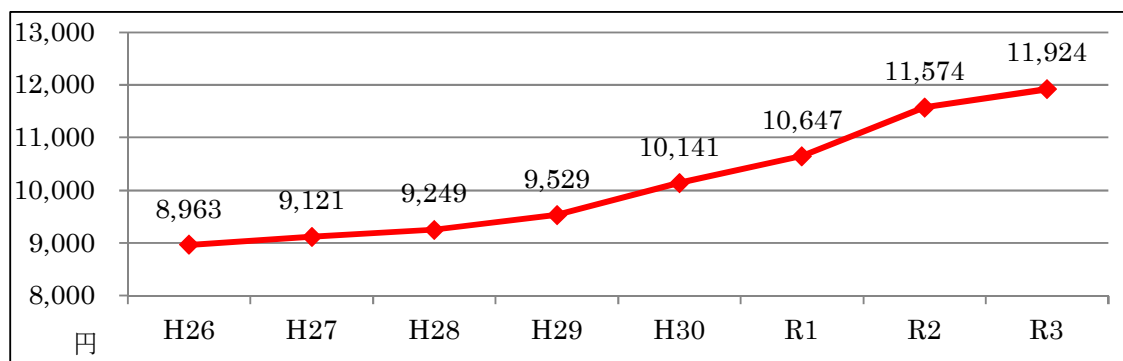
◆ 材料費対医業収益比率



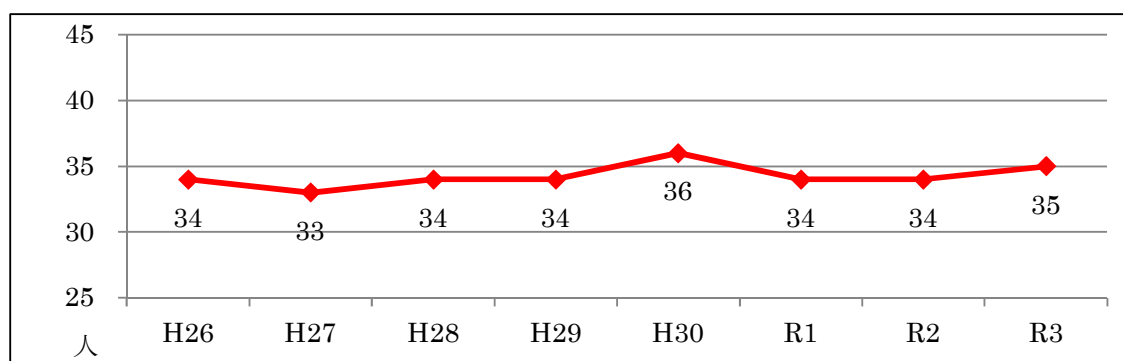
◆ 患者1人1日当たり診療収入（入院）



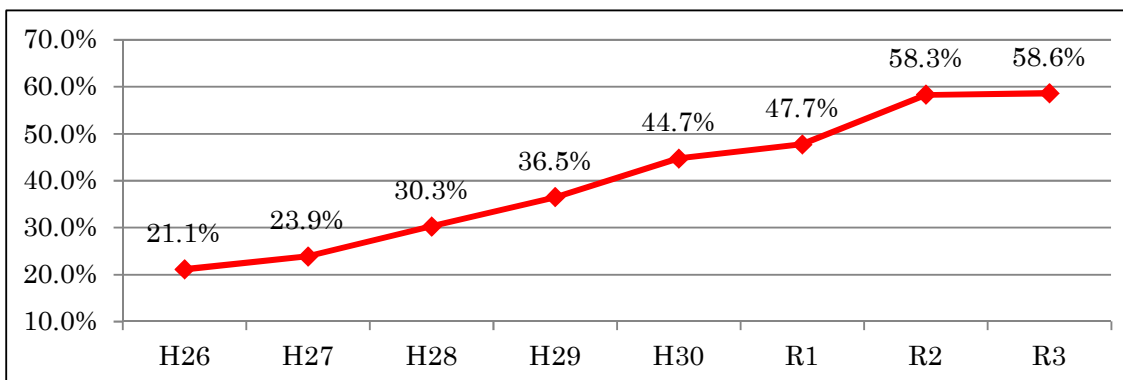
◆患者1人1日当たり診療収入（外来）



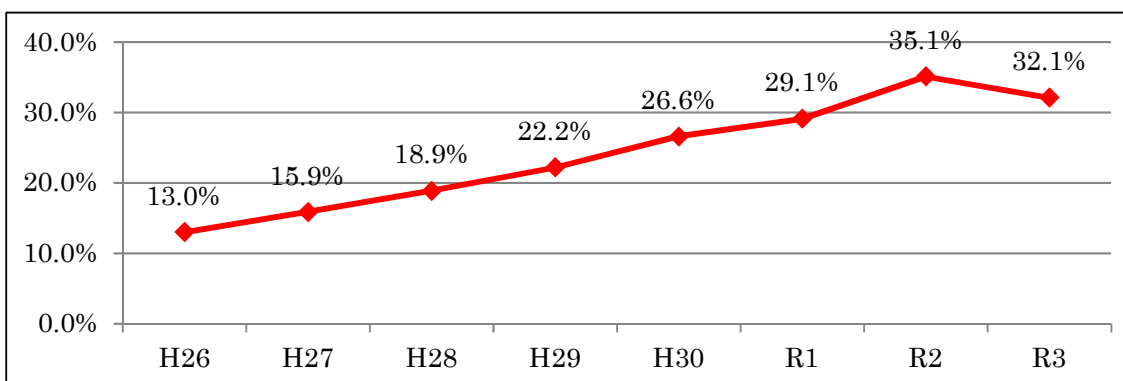
◆常勤医師数



◆紹介率



◆逆紹介率



※この資料の令和3年度決算数値については決算見込みであり、令和4年9月に開催される千歳市議会「令和4年第3回定例会」において、「令和3年度千歳市病院事業会計決算」が認定されるまで、数値が変更となる場合があります。